

みはり

おおすぎ「んえもん

わたしは のはらの みはりやく
てんきの ぐあいも よくみえる
あーあー ほんじつは
せいてんなり せいてんなり
たつぷりあそべる せいてんなり



けっしん

かざりしお

つよく

おおしく

いきる！

それが ぼくのけっしんです

でも ときどき

むねの やわらかいところが

なきたくなるのね

.....

なんでかなあ



うみの むかしばなし

くらげはるお

むかしむかし おおむかし

せかいは もんもこしてたとき

もんもこしてた そのときこ

ちらつと なにかが ゆれたとく

ゆれたはずみに こりやどうだ

いきもの ぽちんと うまれたよ

それから どんどん ふえつづけ

とんだり はねたり うたったり

いろんな かたちになつたとき

だけど くらげの せんぞは

もんもこきぶんが さいごう…と

もんもこすがたの ままだった

もんもこもんもこ おくまんねん

くらげは きょうも うみをいく



しっぽバイバイ

おたまじゃくしわたる

ぴらぴらゆれる しっぽがじまん

でも おとなになったら

しっぽと おわかれ

.....

しっぽバイバイ さびしいな

でも

おとなになるのは うれしいもんな

でも

さびしいな

でも

うれしいな

.....

ぼくはいま

でもでもでも……と

およいでる



やるぞ

かまきりりゅうじ

ねぼづばかりしてられない

「けいかくてき」にならなくちや

そ」でまず ぼくは

「けいかくひょう」をつくる

けいかくを たてた

やるぞ！



せいかく

「ぐまきょうせい」

わたしは みんなに

まじめだと おもわれています

わたしの せいかくが

まじめかどうか

まじめに かんがえてみましょう

…:あら「まじめに」だって…:

わたし やっぱり

まじめみたいです



『弁天娘女男白浪（白浪五人男）』（日本駄右衛門）

河竹黙阿弥

問われて名乗るもおこがましいが、生まれは遠州浜松在、十四の時に親に別れ、身の生業も白浪の、沖を越えたる夜働き、盗みはすれど非道はせず、人に情けを掛川から、金谷をかけて宿々で、義賊と噂高札に、廻る配布の盪越し、あぶねえその身の境界も、もはや四十に人間の、定めはわずか五十年、六十余州に隠れのねえ、賊徒の張本日本駄右衛門。

前著『声に出して読みたい日本語』の一番人気は、この『白浪五人男』の弁天小僧菊之助だった。一人だけでは格好がつかないというご意見もあり、盗賊集団の首領、日本駄右衛門に登場願った。「問われて名乗るもおこがましいが」はどこでも使える。謙虚なのか傲慢なのかよくわからないが、礼儀正しさと意気のよさが新鮮だ。「盗みはすれど非道はせず」という微妙な倫理感覚も受け入れやすい。ちなみに、残りの三人は南郷力丸、忠信利平、赤星十三郎。なお、「十四の年（時）から親に放（離）れ」「尽きねえその身の」「賊徒の首領」などとしているものもある。小学生対象の私塾で弁天小僧のセリフをやると、だんだん子どもからだがまっすぐに立ってくる。私が生かすところ、底に砂が入っていて空気を入れると膨らむビニール製の人形があった。空気をたくさん入れると張り切って立ち上がった。それをパンチ・キックして、あり余る元気をぶつけていた。このセリフは、へなへなとなりがちな子どもからだに息の道を通して、この人形のようにしゃんと立たせる効果があった。筋力でからだをまっすぐにするとよりよは、息の張りで立つイメージだ。張りときれのある、中心軸の通った身体を取り戻すが、この本の大きなねらいなので、「また白浪か」という声を承知で今回もトップにもって来た。

*高札Ⅱ「こうざつ」とも。犯罪人の罪状などを記し、町辻などに高く掲げた木の立て札。

*配布Ⅱ「配符」犯罪人の捕縛・密告を命じる手配書。

早口ことば

藤田圭雄

早口ことばを 知ってるかい

親指しつかり にぎりしめ

くちびる十分 しめらせて

頭をひやして しゃべるんだ

なま麦 なま米 なま卵

なま麦 なま米 なま卵

むずかしそうだが なんでもない

おへそに力を 入れるのさ

ほっぺをよくよく もみほぐし

青空みつめて しゃべるんだ

交響曲 歌曲 協奏曲

交響曲 歌曲 協奏曲

誰なのみてたの きいてたの

練習中だよ だめですよ

一人じゃてれるよ まごつくよ

二人でなかよく しゃべるんだ

消防車 清掃車 散水車

消防車 清掃車 散水車

春はるのうた

草野くさの心平しんぺい

かえるは冬ふゆのあいだは土つちの中なかにいて春はるになると地上ちじょうにでてきます。
そのはじめての日ひのうた。

ほっ まぶしいな。

ほっ うれしいな。

みずは つるつる。

かぜは そよそよ。

ケルルン クック。

ああいいにおいだ。

ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。

ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。

ケルルン クック。